

平成5年（2023年）第1回定例市議会 第二部予算特別委員会（3月1日）

質問（森山由美子委員〈公明党〉）	答弁（保険医療部長）
<p>私からは、国民健康保険支払準備基金の活用と保健事業プランの2項目について質問をいたします。（略）</p> <p>次に、国民健康保険の保健事業プランについてですが、これは昨年の決算特別委員会でお尋ねをいたしました。その際は、データを丁寧に分析し、事業の優先度を考慮に入れて進めていくことや、取組の方向性についてご答弁をいただきました。</p> <p>市のホームページには、札幌市国民健康保険運営協議会の資料や議事録が掲載されており、昨年の12月15日にこの協議会での審議が始まったことがわかります。次期保健事業プランのねらいについては、「被保険者のQOLの維持・向上を図る」とされており、現行プランの「QOLの維持・向上を図り、ひいては医療費の適正化に資する」というものを改めることとしているようです。</p> <p>保健事業の目指すところを「QOL」に絞るとともに、医療費適正化については、例えばジェネリック医薬品への切替など、医療費に直接効果のある取組をしっかりと進めていくとのことであり、この点は理解ができるようです。</p> <p>昨年の決算特別委員会では、感覚的な政策決定ではなく、データによる裏付けを持って、より確実性の高い政策決定を行うべきということを指摘させていただきました。</p> <p><u>そこでお聞きしますが、現時点でのデータ分析からどのような健康課題が判明しているのか伺います。</u></p>	<p>データ分析から判明しております健康課題についてでございますが、現在、データを分析中のところでございますが、現時点で把握をしております主だった、大きな課題3点についてお答えをいたします。</p> <p>まず1点目でありまして、医療機関にかかっておらず健診も受けていないために、自らの健康状態を把握できていない方々がいらっしゃいます。その割合が36%と、全国よりも高い状況となっている、これが1点目でありまして。</p> <p>2点目は、がん、生活習慣病、精神疾患のそれぞれ一部につきまして、一人あたり医療費が全国よりも一定以上高くなっているという点でございます。</p> <p>3点目は、健診の結果、医療の受診が必要である加入者の方々に医療機関への受診を現在お勧めをすると、こういった事業を実施をしてございますが、実際に医療につながった割合が20%台前半にとどまっていると、こういった点でございます。</p> <p>これらが主だった課題というふうに捉えてございまして、さらにデータを深く分析をいたしまして、国民健康保険運営協議会にてご審議をいただきながら、次期保健事業プランにおける取組内容について検討してまいりたいと考えてございます。</p>

質問（森山由美子委員〈公明党〉）

今後、今ご答弁いただいた健康課題について、運営協議会でのご審議をいただきながら取組内容について検討していくとのことでした。札幌市独自の健康課題があるということは、札幌市独自の取組があるというふうに思います。一方、保健事業には、国が推奨する取組メニューというものがあるとお聞きをしております。各市町村が、全国的な健康課題に積極的に対応していくよう、国がインセンティブを設けて推奨しているものであり、各市町村ともその取組メニューを実施することで、交付金が獲得できる仕組みになっております。

国は今後もこの制度を活用して、全国的な健康課題に対する取組を推奨しようとしていくものと思いますが、一方で、札幌市は、次期保健事業プランにおいて、札幌市自体の健康課題をデータ分析により把握して、優先度を付けて取組内容を決定し、これを実施に移していこうとされており、国が推奨する取組メニューと必ずしも優先度が一致しない場合もあるのではないかと考えます。

そこで質問ですが、今後も、全国的な健康課題への対応として国が推奨するメニューが示されることと思いますが、札幌市独自の取組との関係で、この国のメニューについてどう考えていくのか伺います。

答弁（保険医療部長）

国が推奨いたします取組メニューについてのお尋ねでございます。

この国が推奨する取組メニューというものの中には、例えば、若年層の、若い層の健診受診勧奨というものがございますが、札幌市といたしましては、そもそも未受診者数も多く、かつ疾患への罹患リスクも高い高齢層、その中でもとりわけ、先ほどお答えをいたしました健康状態を把握できていない方々への受診勧奨が大変重要というふうに考えてございます。

このように、札幌市の健康課題を踏まえますと、国が推奨するメニューに優先して札幌市として取り組むべきものも現実的にはあるというふうに認識をしております。

一方で、札幌市の健康課題への対応策として活用すべきと考えられる国の取組メニューにつきましては、引き続き積極的に取り入れてまいります。

質問（森山由美子委員<公明党>）	答弁（保険医療部長）
<p>国が推奨する取組メニューについては、札幌市の健康課題に照らし、活用すべきものは取り入れていくとのご答弁でございました。</p> <p>国が推奨する取組であっても、札幌市の健康課題に照らすと、必ずしも優先度が高くないものもあり、この点は、国保加入者のQOLの視点に立って、今札幌市として、どういう取組が必要なのかという観点が重要であります。</p> <p>人生100年時代も見据え、皆が元気で長生きしていただけるように後期高齢期も見据えた保健事業プランを策定されることを強く要望いたしまして、私の質問を終わります。</p>	